

平成27年度 神奈川県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会 公開研修会

—厚生労働省プロジェクト報告書解説と地域での高齢者にとどまらない包括的な相談・支援への取り組みから考える地域包括ケアシステムのあり方—

厚生労働省幹部職員による「新たな福祉サービスのシステム等のあり方検討プロジェクトチーム」が9月に発表した報告書「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現—新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン—」をプロジェクトメンバーから解説していただくとともに、高齢者のみにとどまらない包括的な相談・支援体制の確立に向けた県内の取り組みについての実践を報告していただき、ニーズに即応出来る地域の福祉サービスの包括的な提供のあり方について考える機会とする。

1. 日 時 平成28年 2月3日 (水) 13:00~16:30
2. 会 場 神奈川県社会福祉会館 4階 第1・2研修室 (横浜駅西口から徒歩15分—裏面地図参照)
3. 対 象
 - ・本会「第2種・第3種正会員連絡会」加入団体の役職員・会員
 - ・市区町村社会福祉協議会役職員・関係者 (地区社協等小地域福祉活動推進組織役員等)
 - ・市町村福祉行政担当職員、地域包括支援センター等の福祉・保健医療関係機関職員
 - ・その他関心のある県民の方
4. 参加費 無 料
5. 定 員 90名 (先着順、ご参加出来ない場合のみ事務局からご連絡いたします)
6. 申込方法 別添申込用紙にて1月25日 (月) までに下記へファクシミリ・E-mail 又は郵送で送付
 なお締切日前でも、定員となり次第〆切らせていただきます。
 TEL 045-312-4813 ファクシミリ 045-312-6307 E-mail : tiiki@knsyk.jp
 (福) 神奈川県社会福祉協議会 地域福祉推進部 地域福祉推進担当 宛

7. 内 容

予定時間	概 要	講師・発表者
13:00 ~14:00	(基調講演) 「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現—新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン—」について 厚労省プロジェクトチーム報告書の解説と、全世代・全対象に向けた地域における総合相談・支援体制の仕組みづくりのポイントについて、解説をいただく。	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害児・発達障害者支援室長 津曲 共和 氏
14:00 ~14:30	(課題提起) 身近な地域における地域包括ケアシステム 藤沢市地域福祉計画推進委員会での経験を踏まえ、高齢者・障害者という対象にとどまらない相談支援体制構築の課題を提起していただく。	東洋英和女学院大学 教授 石渡 和実 氏
14:30 ~15:30	実践報告① 藤沢型地域包括ケアシステムの実現に向けて 年齢や障がいの有無、性別や国籍などの違いに関係なく、住み慣れた地域や自宅で、自立した心豊かな生活が送れるよう、多くの市民や団体が、共に助け合い支え合うだれにもやさしい福祉社会をつくることを目的とする「藤沢型地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みを伺う。 実践報告② 世代を超えた地域住民の居場所づくりからの課題 戸建て空き家を活用した地域住民の居場所づくりに係る取り組みを通し、介護保険サービス対象外の高齢者、子育て世代・子どもたち自身の課題等を提起、幅広い世代を対象にした相談支援体制について紹介していただく。	藤沢市 福祉部 福祉総務課長 (兼) 福祉事務所長 片山 睦彦 氏 地域のお茶の間研究所 さろんどて 代表 早川 仁美 氏
15:30~15:40	休 憩	
15:40 ~16:30	質疑応答・意見交換	

(※裏面に続く—各発表者の詳細・会場案内図あり)

8. 講師・事例発表者のご紹介

講師・事例発表者	概要
厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害児・発達障害者支援室長 津曲 共和 氏	高齢者や障害者、子育て世帯、生活困窮者といった分野の垣根を越えて、全世代・全対象型地域包括支援体制の構築を目指すとした「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現—新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン—」が福祉サービスに関わる厚労省部局幹部職員プロジェクトチームにより、9月に発表されたが、その報告書作成にワーキングチームメンバーとして関わる。 (「新たな福祉サービスのシステム等のあり方検討プロジェクトチーム・幹事会」厚労省ホームページ) http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000098006.html
東洋英和女学院大学 教授 石渡 和実 氏	専門は障害者福祉論。実践の場と関わりながら、障害がある人々の地域の暮らしをいかに支えるか、そのための地域のネットワークをいかにして築いていくか、について研究を続けている。また、障害がある人や高齢者、児童、女性の人権、いかにして権利をまもるか、などの活動にも関わり続けている。 (東洋英和女学院大学大学院教員紹介ホームページより抜粋) http://www.toyoeiwa.ac.jp/daigakuin/kenkyuuka/kyoin/h_master/hm_n_ishiwata.html
藤沢市 福祉部 福祉総務課長(兼)福祉事務所長 片山 睦彦 氏	市内13地区の特性を活かし、高齢者に限らず、子どもや障がい者、生活困窮者等を含めすべての市民の視点に立ち、貧困、家庭問題等のサポート体制を充実するしくみをつくりながら、地域で活動する「人・団体・企業」が主役となる地域のつながりを重視した体制の構築を謳い、2025年以降の将来を見据え『藤沢型地域包括ケアシステム』の構築に向けて、全庁的な取り組みを進める。 (藤沢市ホームページより抜粋・引用) https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/hukusi2/fujisawagata/fujisawagata_care.html
地域のお茶の間研究所 さろんどて 代表 早川 仁美 氏	茅ヶ崎駅近隣にて、一戸建て空き家を活用し、週一回、食事を提供しながら、高齢者や子育て世代等、多様な地域住民が交流できる居場所を運営。また月に1回程度、0才児等の母親を対象に子育て支援企画を行う。2015年10月からは、子どもの孤食という問題を受けて、「子ども食堂」も開始。 (地域のお茶の間研究所 さろんどて フェイスブック) https://ja-jp.facebook.com/Saitousanchi

(会場案内図)

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2
 神奈川県社会福祉会館
 横浜駅下車、徒歩 15分

※公共交通機関での来場をお願いします。
 お車でのご来場を希望される方は
 事前にご相談下さい。

【問い合わせ先】

地域福祉推進部 地域福祉推進担当
 (担当：高橋 一秀)
 電話 045-312-4813/FAX045-312-6307

e-mail : tiiki@knsyk.jp



平成27年度 (福) 神奈川県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会 公開研修会

平成28年 2月3日(水) 13:00~16:30 開催

—厚生労働省プロジェクト報告書解説と地域での高齢者にとどまらない包括的な
相談・支援への取り組みから考える地域包括ケアシステムのあり方—

参加申込書

送付先ファックス番号：045-312-6307 Email：tiiki@knsyk.jp

事務担当者名：地域福祉推進部 地域福祉推進担当 高橋 一秀

※記入欄が足りない場合はコピーするか、本会ホームページ<http://www.knsyk.jp/>よりダウンロード
して下さい。もしくは研修名と下記の項目を明記の上、メールにて送信して下さい。

所属先・お名前には必ずフリガナを入れて下さい。

(申込者の所属団体・勤務先で該当する物に○をつけて下さい)

第2種・第3種正会員団体 ・ 社会福祉協議会 ・ 福祉担当行政 ・ 地域包括支援センター
社会福祉法人(老人・障害・児童他) ・ 医療機関 ・ 民間企業 ・ その他 ()

	所属団体・勤務先 名称	お名前	職種・役職 担当業務等	連絡先(電話番号) ※市外局番から記入	備考
①	フリガナ -----	フリガナ -----			
②	フリガナ -----	フリガナ -----			
③	フリガナ -----	フリガナ -----			

※1月25日(月)までにお送り下さい。(メール・ファックスもしくは郵送でお申込み下さい)

但し 定員になり次第、期日前でも受付を終了します。受付は先着順にて行います。

※連絡先は受講不可の場合の連絡先として使用しますので、日中、9時から5時で連絡の取れる電話番号でお願いいたします。必ず市外局番からご記入下さい。

今回の講師及び発表者に伺いたいことがあれば、こちらに記入して下さい

--